

平成 21 年 9 月 11 日 第 5 号

# 飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

(このニュースレターは飯豊連峰保全連絡会会員各位と合同保全作業に参加頂いた皆様にお送りしています)

発行者：飯豊連峰保全連絡会

## ■合同保全作業（梶川尾根上部）の報告について

平成 21 年 9 月 5 日（土）～6 日（日）、飯豊連峰の梶川尾根上部で、平成 21 年度の合同保全作業が行われました。今回の作業箇所は、梶川尾根上部の急傾斜部分で雨水集中と登山道拡幅による侵食によって、現在も荒廃が進行している箇所で行いました。今年 6 月 20 日の飯豊連峰保全連絡会議第 3 回会合で決定されたものです。

作業の概要としては以下のとおりです。

9 月 5 日、天狗平ロッジに集合し、梶川尾根を登り、門内小屋まで番線、剣スコップ、土嚢袋等の資材と、共同食料の荷上げを行いました。梶川尾根上部に到着後、現場作業班と緑化ネット運搬班に分かれ作業を行いました。現場作業班は、ガリー侵食部に土砂を堆積させるため、現地の転石を用いて土留め工を設置する作業を行いました。緑化ネット運搬班は、事前に門内小屋の倉庫に荷上げしていた緑化ネット 10 巻を、翌日の作業に備えて作業箇所である梶川尾根上部に運搬しました。作業終了後は、門内小屋にて緑化ネット固定に使用するペグを番線から加工する作業を行いました。

9 月 6 日は、土留め工設置と緑化ネットを敷設する作業を行いました。作業の概要は以下のとおりです。

- ・ガリー侵食部に土砂を堆積させるため、麻製土嚢袋と現地の転石を用いて土留め工を設置する作業を行いました。
- ・必要箇所に雨水の排水路を設置しました。
- ・植生保護の為、登山道と植生部の際に石を設置しました。
- ・土留め工設置後は、歩行路以外の裸地部に緑化ネット 10 巻（1 巻 1.2m×30m）を敷設する作業を行いました。ネット敷設後は風で飛ばされないように番線を加工したピンでネットを固定し、微地形効果と重しを兼ねて、転石を置きました。



現地の転石を用いて土留め工を設置



麻製土嚢袋を用いて土留め工を設置



植生保護のため、登山道と植生部の際に石を設置



緑化ネットを敷設



作業終了後、全員で施工箇所を確認しました



参加者全員で記念撮影

今回の作業では、経験者がリーダーとなって場所ごとにグループに分かれ、現地の転石を運ぶ、石組みを設置する、緑化ネットを被せる、番線や転石でネットを固定する等、各自が役割分担をして作業を行い、計画していた作業をスムーズに完了することができました。また、当日に飛び入りで作業に参加して下さった方もおりました。

昨年度に引き続き、NPO 飯豊朝日を愛する会に計画の受皿になって頂き、資材、飲食料の提供、作業計画の決定など、子細に渡ってご尽力頂きました。また、今年度も置賜森林管理署からは多くの資材を提供頂き、胎内市からも緑化ネットのヘリ荷上げ・保管に協力頂きました。

今回の作業に関わって頂いた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、また様々な形で関わって下さった地域関係者皆様の心意気に、厚くお礼申し上げます。

《当日は、10 団体、34 人の参加がありました》

なお、9 月 19 日～21 日には天狗ノ庭での合同保全作業、10 月（詳細な日程は検討中です）には玄山道分岐での合同保全作業と続いていきますので、引き続きよろしくお願ひ致します。

【発行者】

飯豊連峰保全連絡会

(事務局) 羽黒自然保護官事務所(佐藤、佐々木)

〒997-0141

山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777

FAX : 0235-62-4537

E-mail : RO-HAGURO@env. go. jp